

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大磯駅前自転車駐車場	階数	地上2F 地下1F
建設地	中郡大磯町大磯904番6他	構造	S造
用途地域	近隣商業・第一種住居地域,準防火地域	平均居住人員	2人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年10月22日
敷地面積	1,306 m ²	作成者	相和技術研究所
建築面積	710 m ²	確認日	2014年10月24日
延床面積	2,414 m ²	確認者	相和技術研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値

建築物の取組み

上記+ 以外の

上記+

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

生物環境 まちなみ 地域性

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

建物の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項

総合	その他
再生木材を使用した木質系ルーバーや太陽光発電、LED照明設備等の採用により環境負荷低減を図り省エネルギーに配慮した計画としている。	根切り土を敷地内に置きまして埋戻しに使用したり、敷地の石を利用して擁壁を設置する等、搬出物を減らす計画としている。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
	金属面や設備機器は有害地域対策を行っている。
Q3 室外環境(敷地内)	
	大磯町の玄関口の顔となる重要な土地であることを勘案し、建築物の外観は大磯らしい外観やデザインを取り入れた横格子のルーバーを設置する計画としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
自然エネルギーの直接利用として太陽光発電を設置している。また、LED照明設備の採用により消費エネルギーの低減を図っている。	設備隠ぺい型の仕上げ材を極力設けない計画とし、設備の更新に配慮している。
	LR3 敷地外環境
	駅前の自転車・バイク駐車場となるため、周辺地域の交通負荷低減施設となる。また、雨水浸透施設を設置することで敷地外環境への負荷抑制に配慮している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される